

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしのご大森		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年12月20日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等に応じた専門性のある支援を実施	視覚優位な児童であれば、視覚的ツールを活用したり、見通しが持ちづらい児童であれば、次の行動に移行する前に次に行くことを声掛けをしたりしています。また、それぞれの児童が何を得意とし、何を課題としているのか職員同士ですり合わせを行い、集団での活動、児童の発達段階や課題に応じた小集団での活動で課題設定をしています。	自己を理解しようとする様子が窺えるようになってきている為、より具体的に自身がどうしたいかを聞く時間を設けていきます。また、それぞれの児童の強みを活かす・伸ばせる活動を検討していきます。
2	柔軟な療育の実施	基本となる一日の流れはあるものの、その日に来所する児童の様子に応じて臨機応変に対応しています。また、それぞれの活動に意味を持たせ、取り組むことによって、どうなっていくのか将来像をイメージしながら提供しています。加えて、季節を感じられるようなイベント・制作やお出かけ療育を実施しています。	イベントやお出かけ療育を実施しましたが、実施曜日が祝日・土曜日が多く、参加する児童が偏ってしまっていました。長期休暇中は、年間の祝日を考慮した実施が行えるように検討します。
3	保護者の方との情報共有	療育後、手短ではありますがその日の様子をお伝えしています。その際、ご家庭や学校ではどういう様子であるかも伺い、次の支援に活かしています。また、気になる点があった場合も同様に保護者の方に確認し、共通理解のもと、支援を行えるようにしています。	療育後の引き渡し時では、手短になってしまうことから、保護者の方の様子や内容によって、こちらから家族支援の提案をさせていただき、保護者の方と一緒に並走した支援を行えるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援として、グループでの相談やペアレント・トレーニングの実施	保護者会は開催出来ていましたが、グループ相談やペアレント・トレーニングの実施は行えていません。	保護者の方にどんな内容でグループでの相談やペアレント・トレーニングを行いたいのか等、ニーズを把握し、計画的な実施を検討していきます。
2	父保護者同士の交流の場	児童・保護者が参加出来るイベントの企画は行えたものの、保護者のみの交流の場は設けられていません。	以前は、ほしのごカフェを開催し、保護者同士の交流の場を設けさせていただいていましたが、感染症対策として控えておりました。定期的に開催が行えるように検討していきます。
3	各種マニュアルを保護者に周知・説明	避難訓練の実施は、HUGやSNSを活用し、周知出来ていましたが、各種マニュアルが策定されていること、それぞれに応じた訓練に取り組んでいることへの周知が不十分なこと、無回答が多く窺えました。	新規契約時やモニタリング時に災害時の対応や各種マニュアル等を策定しており、研修や訓練も行っていることを周知していくようにします。